

Wings of technology

and spirit of innovation.

That's our DNA driving our global success.

株主通信

2008年4月1日～2008年9月30日

# 株主の皆様へ

“株主通信”をお届けするにあたり、一言ごあいさつ申し上げます。

当中間期の経済情勢は、サブプライムローン問題に端を発した世界的な金融資本市場の混乱などの影響が実体経済に波及し、世界経済が減速感を強めるなか、新興国の成長に支えられ堅調に推移してきたアジア経済においても減速の兆しが出てまいりました。また、国内経済においても民間設備投資と輸出に牽引されていた景気が弱含んできております。

このような状況の下、当社グループは平成19年度を初年度とする三ヵ年の中期経営計画「ステージアップ 2009」の基本方針に基づき、収益基盤確立と財務構造改革をより一層推し進め、「ステージアップ 2009」の目標達成に向けて業績の向上に取り組んでまいりました。この結果、当中間期における連結業績は増収増益となりました。

今後の経済情勢につきましては、金融危機の影響を受けた世

界経済の減速により需要の減退が顕在化する一方で、原燃料価格、為替等が大きく変動し、先行き不透明感がより一層強まっておりますことから、事業環境はますます厳しさを増すものと予想されます。

こうした情勢を踏まえ、株主の皆様には誠に申し訳なく存じますが、中間配当を見送らせていただきたく、なにとぞご了承賜りますようお願い申し上げます。

なお、期末配当につきましては1株につき5円とさせていただきます。

当社グループでは、「ステージアップ 2009」の最終年度目標の早期達成に向けて、総力を結集して取り組んでまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 **田村浩章**



## CONTENTS

株主の皆様へ	1
中間連結業績ハイライト	2
部門別概況(連結)	3
<Close-Up UBE>環境に貢献する製品・技術	4
トピックス	5
決算の概況(連結)	7
決算の概況(単独)	9
会社情報	9
株式情報	10

マネジメント・チーム (2008年9月30日現在)



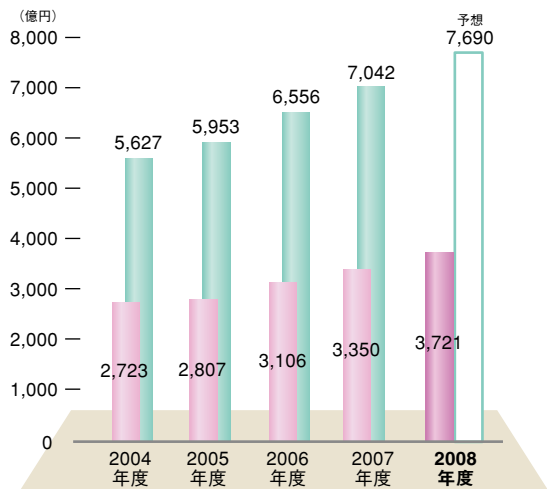
左から：紀平浩二専務執行役員、関谷一眞専務執行役員、岡田和彦代表取締役、宇野雅夫取締役、田村浩章代表取締役社長、古川陽道取締役、千葉泰久代表取締役、松本善臣\*取締役、竹下道夫取締役、元田充隆\*取締役、高橋信行専務執行役員

\*社外取締役

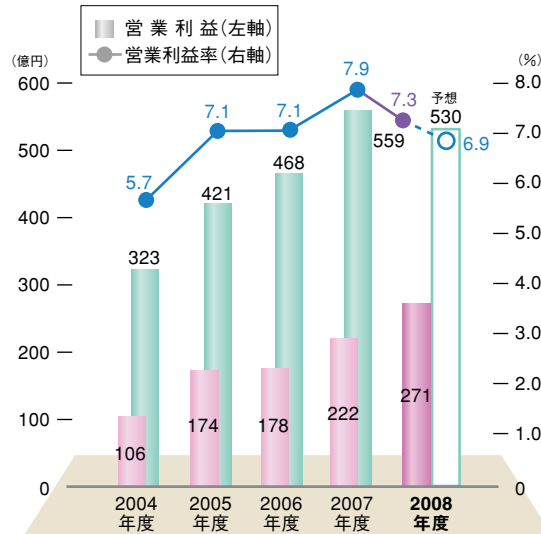
# 中間連結業績ハイライト

■ 通期 ■ 中間期 ● 通期 ● 中間期

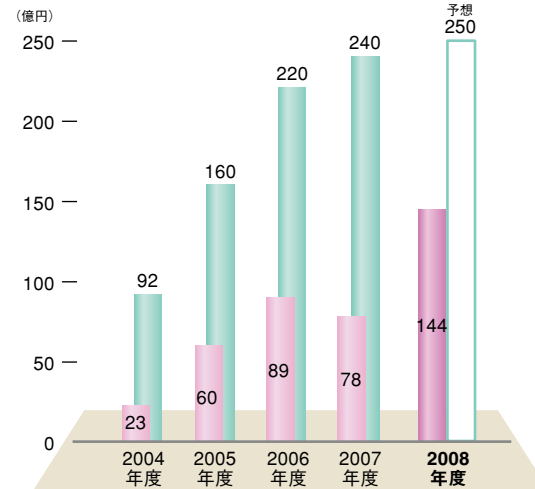
## 売上高



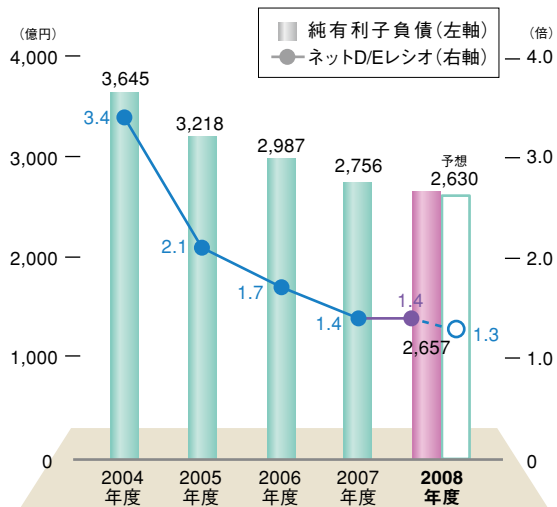
## 営業利益と売上高営業利益率



## 中間(当期)純利益

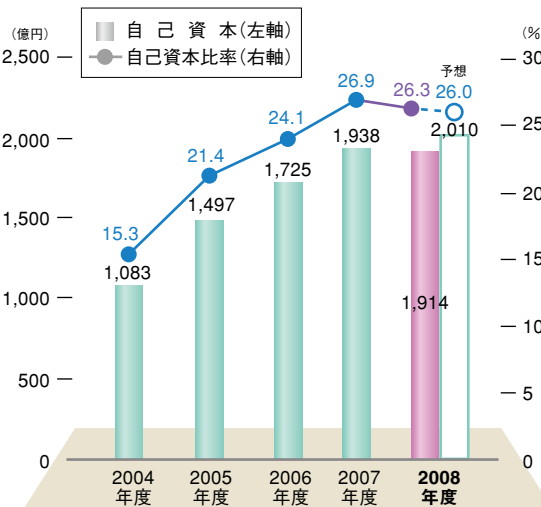


## 純有利子負債とネットD/Eレシオ\*



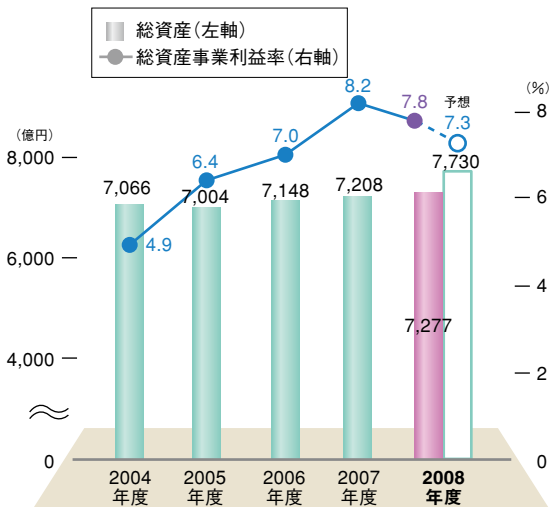
\* ネットD/Eレシオ = 純有利子負債 (= 有利子負債 - 現金・現金同等物) / 自己資本

## 自己資本と自己資本比率\*



\* 自己資本比率 = 自己資本 (= 純資産 - 新株予約権 - 少数株主持分) / 総資産

## 総資産と総資産事業利益率(ROA)\*



\* 総資産事業利益率(ROA) = 事業利益 (= 営業利益 + 受取利息・受取配当金 + 持分法投資損益) / 総資産

# 部門別概況（連結）

部門	主要商品	売上高比率	部門別概況
<b>化成品・樹脂</b> 売上高 <b>1,273</b> 億円 （前中間期比12.9%増） 営業利益 <b>107</b> 億円 （前中間期比55.1%増）	 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 合成ゴム</li> <li>● カプロラクタムチェーン</li> <li>・ カプロラクタム</li> <li>・ ナイロン樹脂</li> <li>・ 工業薬品</li> </ul>	 <b>34%</b>	<p>カプロラクタム、ナイロン樹脂、ポリブタジエン（合成ゴム）の出荷は高水準で推移しました。工業薬品の出荷は概ね堅調でした。なお、当部門では原燃料価格高騰の影響を大きく受けましたが、底堅い需要に支えられて価格転嫁が進み、スプレッド（製品価格と原料価格の値差）を確保しました。</p>
<b>機能品・ファイン</b> 売上高 <b>484</b> 億円 （前中間期比6.1%増） 営業利益 <b>58</b> 億円 （前中間期比5.3%減）	 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 機能性材料</li> <li>・ ポリイミド</li> <li>・ 電池材料（電解液、セパレーター）</li> <li>・ 半導体関連・電子材料（高純度化学薬品、光通信関連）</li> <li>・ ガス分離膜</li> <li>・ セラミックス</li> <li>・ 通信部品</li> <li>● ファインケミカル</li> <li>● 医薬品（原体、中間体）</li> </ul>	 <b>13%</b>	<p>リチウムイオン電池用電解液・セパレーター、半導体向け高純度化学薬品などの出荷は総じて好調でしたが、前年度に薄型テレビ用パネルなどの在庫調整による影響を受けたポリイミド製品の出荷は回復基調ながら伸び悩みました。窒素分離膜などで需要が旺盛なガス分離膜の出荷はきわめて好調でした。医薬品原体・中間体の出荷は総じて堅調で、ファインケミカル製品の出荷は好調でした。</p>
<b>建設資材</b> 売上高 <b>1,055</b> 億円 （前中間期比5.8%増） 営業利益 <b>38</b> 億円 （前中間期比9.2%減）	 <ul style="list-style-type: none"> <li>● セメント・生コン</li> <li>● 資源リサイクル</li> <li>● 石灰石</li> <li>● 建材関連製品（セルフレベリング材、左官材、防水材）</li> <li>● カルシア・マグネシア</li> <li>● 機能性無機材料</li> </ul>	 <b>28%</b>	<p>セメント・生コン、建材製品の出荷は、昨年の改正建築基準法による影響とそれに続く鋼材価格の高騰、不動産市況の悪化による建設需要の低迷を受けて低調でした。各種廃棄物の原燃料へのリサイクル利用は順調に拡大しました。カルシア・マグネシア製品の出荷は鉄鋼向けを中心に好調でした。当部門では石炭等燃料コスト上昇の影響を大きく受けましたが、各製品で価格転嫁に努めました。</p>
<b>機械・金属成形</b> 売上高 <b>596</b> 億円 （前中間期比9.9%増） 営業利益 <b>23</b> 億円 （前中間期比14.3%減）	 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 機械</li> <li>・ 成形機（ダイカストマシン、射出成形機）</li> <li>・ 産機（運搬機、ミル、破砕機）</li> <li>・ 橋梁・鉄構</li> <li>・ 製鋼品</li> <li>● アルミホイール</li> </ul>	 <b>16%</b>	<p>機械事業は、自動車関連設備需要の減少に伴い、成形機の出荷は低調でしたが、国内外の製鉄産業向けや海外のセメント産業向けを中心とした窯業機や堅型ミルなど各種産業機械の出荷が好調でした。受注も成形機で減少しましたが、産業機械で大幅に増加し、高水準を維持しております。製鋼品は鉄スクラップ価格が高騰しましたが製品価格に転嫁し、出荷も堅調に推移しました。</p> <p>アルミホイール事業は、自動車販売低迷の影響を受け国内・北米ともに出荷は低調で、引き続き生産性の向上と徹底したコスト削減に努めております。</p>
<b>エネルギー・環境</b> 売上高 <b>293</b> 億円 （前中間期比41.3%増） 営業利益 <b>42</b> 億円 （前中間期比130.8%増）	 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 石炭</li> <li>● 電力</li> </ul>	 <b>8%</b>	<p>石炭の価格高騰と需給逼迫状況が継続するなか、販売炭価格が上昇し出荷も好調で、前年度に過去最高を記録したコールセンター（石炭貯蔵場）の取扱い数量は、本年2月に実施した貯炭能力増強効果もあり、引き続き高水準で推移しました。電力卸供給事業においては、バイオマス及び低品位炭の利用拡大により燃料コストの低減が進みました。</p>

（注）その他の事業を割愛しているため、売上高比率の合計は100%になっておりません。



# クローズアップ <Close-Up UBE> 環境に貢献する製品・技術

いまや、地球環境の保全は世界共通の課題。航空・宇宙、情報電子から、自動車、社会インフラ、さらには日々の暮らしまで、幅広い分野で事業展開しているUBEグループは、「化学技術を通じて環境に貢献する製品・技術」を中心として、すべての事業分野で温暖化ガス排出量削減や資源循環型社会の実現を目指した取組みを行っています。ここでは、環境にやさしい「自動車」を実現するための多彩なUBEグループの製品・技術をご紹介します。

## 自動車の軽量化・燃費向上に役立つ製品・技術



### エンジン部品ほか



軽金属部品成形用「ダイカストマシン」  
【宇部興産機械(株)】



### バンパー、インストルメントパネル



樹脂部品成形用「射出成形機」  
【宇部興産機械(株)】



PP樹脂補強・難燃添加剤「モスハイジ®」  
【宇部マテリアルズ(株)】

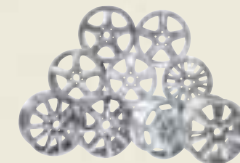


セラミックス材料  
「高純度窒化珪素粉末」



タイヤ充填用  
「窒素分離膜モジュール」

### アルミホイール



軽量・強靱な  
「UBEアルミホイール」

### タイヤ



エコタイヤ用合成ゴム  
「UBEPOL® VCR」

## ほかにもUBEグループではこんな取組みを行っています。

### クリーン・エネルギー

#### バイオ燃料

「UBE 有機溶剤脱水膜」は、ガソリン添加用となるバイオエタノールの精製用として注目されています。

#### リチウムイオン二次電池

ポリオレフィン多孔フィルム「ユーポア®」は、車載電池のセパレーターとして使用されています。また、電解液「ピュアライト®」も電気自動車への搭載が期待されています。燃料電池や新電源など、将来のクリーン・エネルギーに向けた研究開発も進めています。

### 有害物質の排出抑制

#### 環境コーティング材料

「ポリウレタンディスパージョン」「ポリカーボネートジオール」は有害なVOC（揮発性有機化合物）を削減できる水系塗料の原料となります。水系塗料は、環境に配慮した塗料材料として、自動車内外装での使用が拡大しています。

### リサイクル

#### セメント工場

廃タイヤや廃プラスチックなどの廃棄物をセメント製造の原燃料として使用し、循環型社会の構築に貢献しています。

#### 調色リサイクル樹脂

「UBEコンポジット®」は、廃プラスチックの色調を自在に変えて、表面外観に優れたリサイクル樹脂に再生します。

# トピックス

## 2008年度中間期トピックス一覧

- 2008年 4月 日本政策投資銀行「環境配慮型経営促進事業」の環境格付けにおいて、特別表彰を取得
- 4月 ポリイミド銅張り積層板(2層CCL)\*<sup>1</sup>事業を宇部日東化成(株)に移管
- 4月 宇部マテリアルズ(株)の海水マグネシア系環境改善剤「クリアウォーター®」が河川・湖沼の水質・底質改善に効果 **Topics 1**
- 5月 窒化珪素\*<sup>2</sup>の増産設備が完工
- 6月 宇部興産機械(株)が次世代大型全電動式射出成形機「MDS-Vシリーズ」を発売開始 **Topics 2**
- 8月 肥料等製造販売会社「エムシー・ファースティコム株式会社」が発足
- 8月 宇部興産グループチャリティーコンサート 日本フィルハーモニー交響楽団・宇部公演を開催 **Topics 3**
- 9月 「UBEグループCSR報告書2008」を発行 **Topics 4**
- 9月 タイ国に1,6ヘキサンジオールの新工場建設を決定 **Topics 5**

### 用語解説

\*1 **ポリイミド銅張り積層板(2層CCL)** 当社で製造する熱融着型ポリイミドフィルムに銅箔を直接張り合わせた、電子回路用のフレキシブル基板材料です。携帯電話やデジタルカメラ、携帯音楽プレーヤーなどの電子機器に使用されています。

## Topics 1

建設資材

宇部マテリアルズ(株)の海水マグネシア系環境改善剤「クリアウォーター®」が河川・湖沼の水質・底質改善に効果

改善前



改善後



河川水質改善例(東京都大田区)

UBEグループの宇部マテリアルズ(株)が製造・販売する海水マグネシア系環境改善剤「クリアウォーター®」は、海、河川、湖沼の水質・底質改善に、有機物の堆積で酸性化した汚泥やヘドロを分解・浄化する一方、バクテリアの増殖による硫化水素などの有害物質の発生を防止し、自然環境を回復することを実証しました。浮上アオコ対策についても効果があり、問合せが相次いでいます。

## Topics 2

機械・金属成形

宇部興産機械(株)が次世代大型全電動式射出成形機「MDS-Vシリーズ」を発売開始



大型全電動式射出成形機「MDS-Vシリーズ」

UBEグループの宇部興産機械(株)は、好評を得ている全電動式射出成形機(MDシリーズ)をフルモデルチェンジし、大型全電動式射出成形機としては3世代目となる「MDS-Vシリーズ」の販売を開始いたしました。高剛性の型締めユニットにより、より型締力の小さい成形機での成形が可能となる他、省電力によるCO<sub>2</sub>削減効果など、基本性能を大幅に革新し、性能向上を実現させました。

\*2 **窒化珪素** ファインセラミックスの一種で、四塩化珪素とアンモニアを原料として製造されます。耐熱性、耐摩耗性に優れており、ベアリングボール、切削工具、ディーゼルエンジン用グロープラグなど幅広い用途で使われています。

### Topics 3

全社

#### 宇部興産グループ チャリティーコンサート 日本フィルハーモニー交響楽団・宇部公演を開催



地元の中学校での「ふれあいコンサート」



日本フィルハーモニー交響楽団・宇部公演(渡辺翁記念会館)

CSR活動の一環として、音楽を通じた地域文化の振興を図るため、「第1回宇部興産グループ チャリティーコンサート 日本フィルハーモニー交響楽団・宇部公演」を開催いたしました。当日の公演は満員の聴衆を魅了し、大盛況となりました。また、公演前日には芸術文化に触れる機会や癒しを届けようと、地元の中学校や宇部興産中央病院で「ふれあいコンサート」を開催いたしました。

\*3 1,6ヘキサジオール カプロラクタム由来の製品で、数万トン規模のニッチなマーケットながら需要は堅調に推移しています。世界で3社しか生産しておらず日本では当社が唯一のメーカーです。

### Topics 4

全社

#### 「UBEグループCSR報告書2008」を発行



UBEグループCSR報告書2008

「UBEグループCSR報告書2008」では、ノンフィクション作家・山根一真氏との対話形式による「トップメッセージ」をはじめとして、UBEグループのCSR(企業の社会的責任)活動の詳細をわかりやすくご紹介しています。

「UBEグループCSR報告書2008」は、当社ホームページからも送付請求、またはダウンロードいただけます。

<http://www.ube-ind.co.jp/japanese/ir/shiryou.htm>

(お問合せ:CSR推進部)

Tel: 03-5419-6118 Fax: 03-5419-6237)

### Topics 5

機能品・ファイン

#### タイ国に1,6ヘキサジオールの新工場建設を決定



スペインの1,6ヘキサジオール 製造設備

タイ国で1,6ヘキサジオール\*3の新工場建設を決定しました。1,6ヘキサジオールは、高品質、高性能なポリエステル、ポリウレタン樹脂や接着剤原料などに使用されます。特に近年では、溶剤を使用しない環境にやさしいコーティング材の原料としての適用も進んでいます。アジアの旺盛な需要に応えるとともに、日本、スペインに次ぐ第3の拠点新設により、競争力は一層強化されます。



# 決算の概況(連結)

## 連結貸借対照表

(単位：百万円)

主な科目	前期 (2008年3月31日現在)	当中間期 (2008年9月30日現在)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>	<b>297,893</b>	<b>321,475</b>
現金及び預金	25,338	27,224
受取手形及び売掛金	163,967	162,827
たな卸資産	84,677	107,697
その他	23,911	23,727
<b>固定資産</b>	<b>422,935</b>	<b>406,210</b>
有形固定資産	360,031	343,387
無形固定資産	4,139	3,890
投資その他の資産	58,765	58,933
繰延資産	70	60
<b>資産合計</b>	<b>720,898</b>	<b>727,745</b>

主な科目	前期 (2008年3月31日現在)	当中間期 (2008年9月30日現在)
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>	<b>318,072</b>	<b>320,626</b>
支払手形及び買掛金	107,130	119,459
短期借入金	127,788	135,680
一年以内償還社債・転換社債	20,187	80
その他	62,967	65,407
<b>固定負債</b>	<b>183,794</b>	<b>192,277</b>
社債	16,080	15,940
長期借入金	136,711	140,819
退職給付引当金	7,209	7,322
その他	23,794	28,196
<b>負債合計</b>	<b>501,866</b>	<b>512,903</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>	<b>177,350</b>	<b>186,530</b>
資本金	58,400	58,435
資本剰余金	28,387	28,433
利益剰余金	91,133	100,292
自己株式	△570	△630
<b>評価・換算差額等</b>	<b>16,515</b>	<b>4,959</b>
新株予約権	179	221
少数株主持分	24,988	23,132
<b>純資産合計</b>	<b>219,032</b>	<b>214,842</b>
<b>負債・純資産合計</b>	<b>720,898</b>	<b>727,745</b>

### POINT 1 流動資産

現金及び預金が18億円、たな卸資産が230億円増加したことなどにより、前期比235億円(7.9%)増加しました。

### POINT 2 固定資産

有形固定資産が166億円減少したことなどにより、前期比167億円(4.0%)減少しました。

### POINT 3 負債

転換社債の償還などにより、有利子負債が80億円減少しましたが、支払手形及び買掛金が123億円増加したことなどにより、前期比110億円(2.2%)増加しました。

### POINT 4 純資産

中間純利益などにより利益剰余金が91億円増加しましたが、円高に伴い為替換算調整勘定が112億円減少したことなどにより、前期比41億円(1.9%)減少しました。



## 連結損益計算書

(単位：百万円)

主な科目	前中間期	当中間期
	(自 2007年4月1日 至 2007年9月30日)	(自 2008年4月1日 至 2008年9月30日)
売上高	335,051	372,124
売上原価	271,970	302,468
売上総利益	63,081	69,656
販売費及び一般管理費	40,838	42,524
営業利益	22,243	27,132
営業外収益	4,715	4,117
営業外費用	8,304	7,696
経常利益	18,654	23,553
特別利益	704	353
特別損失	4,390	718
税金等調整前中間純利益	14,968	23,188
法人税等	6,693	8,345
少数株主利益	473	398
中間純利益	7,802	14,445

## 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

主な科目	前中間期	当中間期
	(自 2007年4月1日 至 2007年9月30日)	(自 2008年4月1日 至 2008年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	27,756	32,163
投資活動によるキャッシュ・フロー	△14,213	△17,579
財務活動によるキャッシュ・フロー	△10,276	△11,800
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,015	△893
現金及び現金同等物の増加額	5,282	1,891
現金及び現金同等物の期首残高	21,278	25,082
連結範囲変更に伴う調整	295	—
現金及び現金同等物の中間期末残高	26,855	26,973

## 連結株主資本等変動計算書 (自 2008年4月1日 至 2008年9月30日)

(単位：百万円)

	株主資本					評価・換算差額等	新株予約権	少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計				
前期末残高	58,400	28,387	91,133	△570	177,350	16,515	179	24,988	219,032
在外子会社の国際財務報告基準適用に伴う増減額			△247		△247				△247
中間期中の変動額									
剰余金の配当			△5,039		△5,039				△5,039
中間純利益			14,445		14,445				14,445
自己株式の取得				△71	△71				△71
自己株式の処分		14		11	25				25
転換社債の転換	35	35			70				70
持分比率の変動に伴う減少高		△3			△3				△3
株主資本以外の項目の中間期中の変動額(純額)						△11,556	42	△1,856	△13,370
中間期中の変動額合計	35	46	9,159	△60	9,180	△11,556	42	△1,856	△4,190
中間期末残高	58,435	28,433	100,292	△630	186,530	4,959	221	23,132	214,842

# 決算の概況(単独)

# 会社情報 (2008年9月30日現在)

## 貸借対照表

(単位：百万円)

主な科目	前期 (2008年3月31日現在)	当中間期 (2008年9月30日現在)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>	<b>134,414</b>	<b>149,460</b>
現金及び預金	5,980	6,239
受取手形及び売掛金	75,186	78,161
たな卸資産	33,788	44,660
その他	19,459	20,399
<b>固定資産</b>	<b>330,028</b>	<b>325,303</b>
有形固定資産	201,954	197,191
無形固定資産	2,953	2,903
投資その他の資産	125,120	125,208
<b>繰延資産</b>	<b>65</b>	<b>57</b>
<b>資産合計</b>	<b>464,508</b>	<b>474,822</b>
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>	<b>198,349</b>	<b>193,430</b>
支払手形及び買掛金	48,241	58,972
短期借入金	88,335	93,755
一年以内償還転換社債	19,907	—
その他	41,864	40,703
<b>固定負債</b>	<b>138,771</b>	<b>149,161</b>
社債	15,000	15,000
長期借入金	112,424	120,353
その他	11,347	13,808
<b>負債合計</b>	<b>337,121</b>	<b>342,592</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>	<b>124,996</b>	<b>129,771</b>
資本金	58,399	58,434
資本剰余金	29,198	29,234
利益剰余金	37,765	42,532
自己株式	△367	△431
評価・換算差額等	2,211	2,238
新株予約権	179	220
<b>純資産合計</b>	<b>127,387</b>	<b>132,229</b>
<b>負債・純資産合計</b>	<b>464,508</b>	<b>474,822</b>

## 損益計算書

(単位：百万円)

主な科目	前中間期 (自2007年4月1日 至2007年9月30日)	当中間期 (自2008年4月1日 至2008年9月30日)
<b>売上高</b>	<b>158,557</b>	<b>181,960</b>
売上原価	128,699	146,923
<b>売上総利益</b>	<b>29,858</b>	<b>35,037</b>
販売費及び一般管理費	19,081	20,073
<b>営業利益</b>	<b>10,777</b>	<b>14,963</b>
営業外収益	5,306	5,579
営業外費用	5,398	5,498
<b>経常利益</b>	<b>10,685</b>	<b>15,044</b>
特別利益	6,100	54
特別損失	8,786	418
<b>税引前中間純利益</b>	<b>7,999</b>	<b>14,680</b>
法人税等	3,190	4,874
<b>中間純利益</b>	<b>4,809</b>	<b>9,806</b>

## 会社概要

設立	1942(昭和17)年3月
資本金	58,434百万円
従業員数	3,696人(連結 11,288人)
連結対象会社	95社 (連結子会社 67社、持分法適用会社 28社)
ホームページアドレス	http://www.ube.co.jp

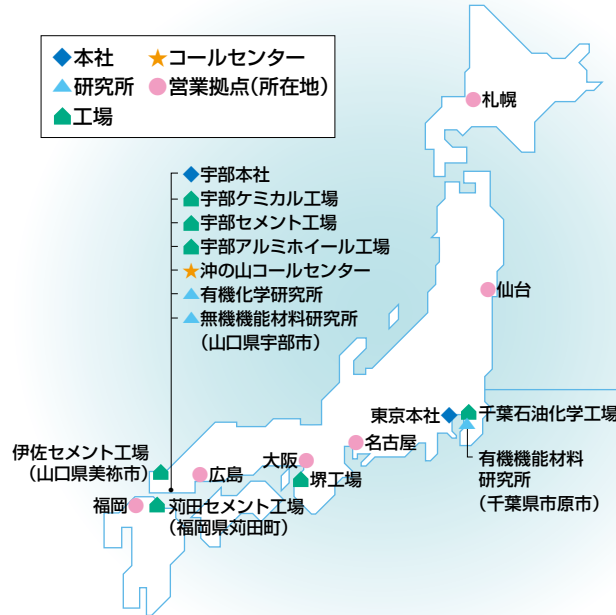
## 役員

(注) \*は取締役との兼務を示しています。

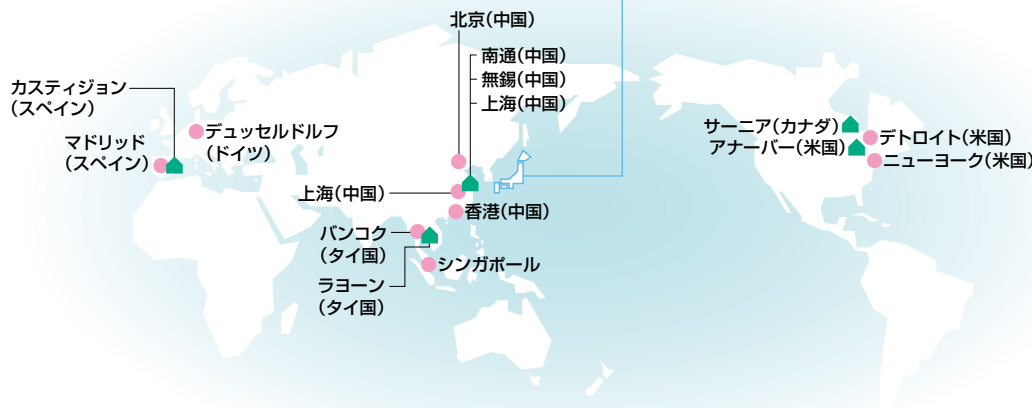
代表取締役社長	田村 浩章	社長執行役員 * 田村 浩章
代表取締役	千葉 泰久	副社長執行役員 * 千葉 泰久
代表取締役	岡田 和彦	副社長執行役員 * 岡田 和彦
取締役	古川 陽道	専務執行役員 紀平 浩二
取締役	宇野 雅夫	専務執行役員 高橋 信行
取締役	竹下 道夫	専務執行役員 * 古川 陽道
社外取締役	松本 善臣	専務執行役員 関谷 一真
社外取締役	元田 充隆	常務執行役員 * 竹下 道夫
		常務執行役員 * 宇野 雅夫
常任監査役(常勤)	池田 浩	常務執行役員 鈴木 勝典
常任監査役(常勤)	樫部 正樹	常務執行役員 チャルニアピットク
常任監査役(常勤)	山中 和郎	常務執行役員 山本 謙
監査役	今泉 敏榮	常務執行役員 末繁 哲雄
		常務執行役員 梅津 誠
		執行役員 出口 隆一
		執行役員 妙中 信之
		執行役員 久保田 隆昌
		執行役員 杉瀬 良二
		執行役員 六角 朋生
		執行役員 杉下 秀幸
		執行役員 松波 正
		執行役員 大原 真二
		執行役員 上田 淳

## 主な事業所

### 国内拠点



### 海外拠点 (主要な海外子会社の所在地)



### 部門別主要連結対象会社

#### 化成系・樹脂部門

宇部フィルム(株)  
 タイ・シンセティック・  
 ラバース社(タイ国)  
 宇部アンモニア工業(有)  
 ウベ・ケミカル・ヨーロッパ社  
 (スペイン)  
 タイ・カプロラクタム社(タイ国)  
 ウベ・ナイロン・タイランド社(タイ国)  
 ウベ・エンジニアリング・  
 プラスチックス社(スペイン)  
 ウベ・ホンコン社(中国)

#### 機能系・ファイン部門

宇部日東化成(株)  
 明和化成(株)  
 ユー・イー・エル(株)  
 ウベ・アメリカ社(米国)

#### エネルギー・環境部門

宇部シーアンドエー(株)

#### その他の部門

ウベ・コーポレーション・  
 ヨーロッパ社(スペイン)

#### 建設資材部門

宇部興産海運(株)  
 大協企業(株)  
 萩森興産(株)  
 ウベボード(株)  
 宇部建設資材販売(株)  
 (株)関東宇部ホールディングス  
 宇部マテリアルズ(株)  
 山石金属(株)  
 宇部三菱セメント(株)\*

#### 機械・金属成形部門

宇部興産機械(株)  
 ウベ・マシナリー社(米国)  
 宇部テクノエンジニア(株)  
 (株)宇部スチール  
 (株)福島製作所  
 ウベ・オートモーティブ・ノース・アメリカ・  
 サニーア・プラント社(カナダ)  
 ウベ・オートモーティブ・  
 ノース・アメリカ社(米国)

\*持分法適用会社

## 株式の状況

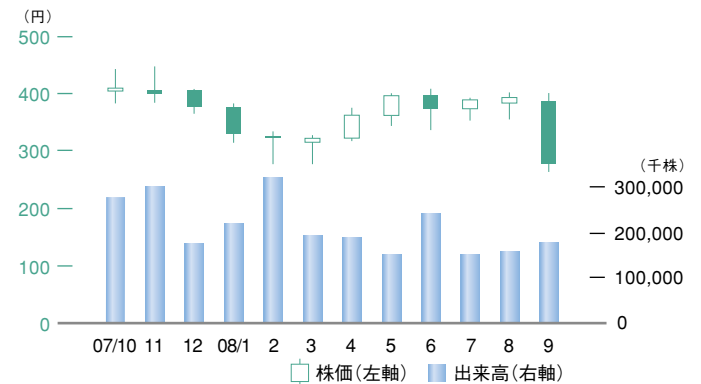
発行可能株式総数 3,300,000,000株  
 発行済株式の総数 1,009,165,006株  
 株主数 80,689名  
 大株主

株主名	当社への出資状況	
	持株数(千株)	出資比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	104,688	10.37
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	90,563	8.97
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4G)	31,391	3.11
住友生命保険相互会社	20,000	1.98
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4)	19,580	1.94
ザチエスマンハットンバンクエヌエイロンドン エスエルオムニバスアカウント	18,591	1.84
日本生命保険相互会社	16,356	1.62
株式会社三菱東京UFJ銀行	15,000	1.49
ゴールドマンサックスインターナショナル	14,314	1.42
株式会社みずほコーポレート銀行	12,487	1.24

## 配当金推移

1株当たり 配当金	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度
	—	2.0円	3.0円	4.0円	5.0円	5.0円 (期末配当予定)

## 株価及び出来高 (東京証券取引所)



## 株券電子化実施に伴うお知らせ

### 1. 特別口座について

株券保管振替制度をご利用でない株主様につきましては、ご所有の株式は三菱UFJ信託銀行に開設される特別口座に記録されます(平成21年1月26日に記録される予定です)。なお、特別口座に記録された株式数等のご案内は、平成21年2月上旬頃にお届けのご住所宛にお送りする予定です。

特別口座に記録された株式に関するお手続きにつきましては、株券電子化実施後は口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。

特別口座に記録された株式についての、各種ご請求やお届出につきましては、平成21年1月26日(月)以降にお手続きが可能となりますので、ご留意ください。

### 2. 株券電子化前後における単元未満株式買取請求・買増請求のお取扱いについて

#### (1) 保管振替制度をご利用でない単元未満株式に関するご請求

①買取のご請求 平成21年1月5日(月)から平成21年1月25日(日)までは、受付をいたしません。

②買増のご請求 平成20年12月12日(金)から平成21年1月25日(日)までは、受付をいたしません。

#### (2) 保管振替制度をご利用の単元未満株式に関するご請求

株券電子化実施の前後において、一定期間お取引の証券会社でお取次ぎを行わないと承っておりますので、具体的な日程につきましては、お取引の証券会社にお問合せください。

株券電子化に関するご質問・ご相談は、株券電子化コールセンターへ

お問合せ先  
および情報は

「株券電子化」なんでも相談窓口  
(株券電子化コールセンター)\*

電話 0120-77-0915 (平日・土 / 9:00~17:00)  
通話料無料

\*株券電子化コールセンターは、(株)証券保管振替機構・日本証券業協会・(株)東京証券取引所が共同で運営する株券電子化についての相談窓口です。

## 株主メモ

- 事業年度 毎年4月1日より翌年3月31日まで
- 定時株主総会開催時期 6月下旬
- 基準日  
定時株主総会 3月31日  
期末配当 3月31日  
中間配当 9月30日
- 公告の方法 電子公告  
<http://www.ube.co.jp>
- 株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号  
三菱UFJ信託銀行株式会社
- 同事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
(同連絡先) 〒137-8081  
東京都江東区東砂七丁目10番11号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
電話 0120-232-711 (通話料無料)
- 同取次所 三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店

### 【お手続き用紙のご請求】

株式に関するお手続き用紙(届出住所等の変更届、配当金振込指定書、単元未満株式買取請求書等)のご請求につきましては、以下のお電話ならびにインターネットにより24時間受け付けておりますので、ご利用ください。なお、株券電子化実施後は、特別口座に記録された株式についてのお手続き用紙のみとなりますので、ご留意ください。

電話 0120-244-479 (通話料無料)

ホームページアドレス <http://www.tr.mufg.jp/daikou/>

(ご注意)

株券電子化後、株主様の各種お手続きは、原則として口座を開設されている証券会社経由で行っていただくこととなります。

なお、未受領の配当金のお支払いにつきましては、引き続き株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行の本支店でお支払いいたします。